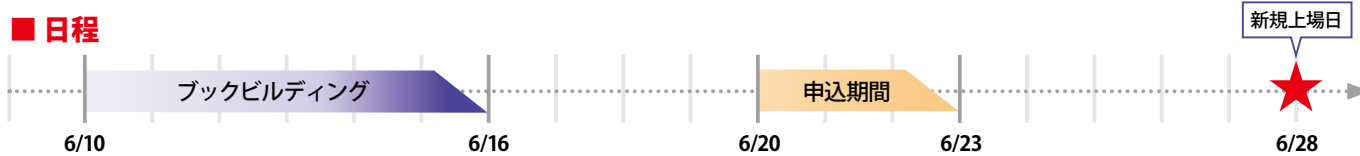


IPO銘柄 ベガコーポレーション (3542・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3542	100 株	公募: 41.00 万株 売出: 43.00 万株 (OA12.60 万株)	1,440 円~ 1,600 円 (12.2 倍)	野村証券



越境Eコマースに向けたグローバルECサイトを運営

■ 事業内容

家具、インテリアなどのインターネット通信販売事業、越境市場をターゲットとしたグローバルEC（電子商取引）サイトを営む。楽天市場やAmazon、Yahoo!ショッピングといった大手インターネットモール内の店舗や、自社運営サイトを通じて販売。家具総合通販の「LOWYA」、ランドセルや子供机などを中心にシンプルで機能的な商品を提供する「LaLa Style」、女性やファミリー層をターゲットにした「Sumicia」などのブランドでサイトを運営。グローバルECサイトの運営では、多言語対応、複数の配送方法を選択できる物流システムを特徴としたグローバルECサイト「DOKODEMO」を運営。メイドインジャパンの商品などを世界各地に提供している。

■ 特徴

商品企画から小売りまで一貫通貫体制により、効率的な商品開発、生産管理を行うことで顧客ニーズを反映した商品提供を行う。また、ネット上から家具、インテリアなどのトレンド情報を収集、分析。マーケットニーズをとらえた新商品の開発に生かしている。なお、子会社を通じてスマートフォン向けゲームの企画・開発・運営も行ってきたが、Eコマース事業への経営資源集中・効率化を目的に、清算手続きを行っている。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年3月期の非連結経常利益は前期比30.2%増の7億7,000万円を計画する。前期まではスマホゲーム子会社を有していたため連結決算を行っていたが、清算に伴って今期から非連結決算化している。為替の円安は輸入商品の原価上昇につながるため、ネガティブな要素。

■ 定性分析

株式市場で注目される、越境Eコマースを手掛ける企業。似たビジネスモデルで上場したジェネレーションパスも、現在は越境Eコマース関連の中核銘柄として人気を集めている。ネット通販会社としては人気化しづらい案件だが、初値はテーマ性重視で上昇しそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は15億円程度。ジャフコ系ファンドによる発行済株式の2割程度の保有があるものの、売出しに応じているほか、残りの株式についてもロックアップ条項が付されているため、即座に市場に流出する可能性は低い。(小泉健太)

■ 類似企業

ベガコーポレーション(3542・マザーズ)	予想PER12.2倍 (仮条件上限)
ジェネレーションパス (3195・マザーズ)	予想PER131.5倍
Hamee (3134・マザーズ)	予想PER34.4倍

■ 引受証券

野村証券、大和証券、SBI証券、みずほ証券、いちよし証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券、東洋証券、丸三証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	7,493	▲ 0.2	532	▲ 26.7	136	▲ 73.1	32.6	—
16年3月期(実績)	9,136	21.9	587	10.4	486	256.3	114.9	—
17年3月期(会社予想)	9,806	—	770	—	662	—	131.1	—

※ 17年3月期は非連結決算。16年4月に株式分割(1株→100株)を実施。15年3月期、16年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	4,1956	3,589	1,673	550	159.7	46.6	8.7
16年3月期	47,429	3,905	2,155	562	454.5	55.2	25.4

※ 15年3月期、16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	アルタイル	1,800,000	36.60
2	浮城 智和	1,632,000	33.18
3	ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	945,000	19.21
4	手島 武雄	305,000	6.20
5	ベガコーポレーション従業員持株会	37,200	0.76
6	富田 誠	26,500	0.54
7	CHEW SU BEE	20,000	0.41
7	末永 絵美	20,000	0.41
9	江田 亮平	13,000	0.26
10	亀山 光晴	12,800	0.26
10	山手 寛道	12,800	0.26
10	中野 国弘	12,800	0.26

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	浮城 智和
専務取締役 EC事業本部長	手島 武雄
取締役 事業管理部長	河端 一宏
取締役 経営管理部長	藤浦 敏明
取締役(監査等委員)	伊藤 芳雄
取締役(監査等委員)	敷地 健康
取締役(監査等委員)	日下 健太

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会